

## 【目標達成計画】

事業所名：グループホーム汽笛

作成日：平成29年1月15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	地域密着型サービスとしてのホームの意義や役割を考えながら、理念を職員と共に共有し、意識付けをして実践につなげて行く。	全職員、企業理念の浸透と実践を図る。	企業理念の掲示と露出度を上げる。 会議前・申し送り前に企業理念の唱和を行う。	12ヶ月
2	40	食事をご利用者様にとって力を発揮し、張り合いにもなり得る場である。食事が楽しみとなるように、食事前後の手伝いやおやつ作り等、気持ちを引き出す場面作りが望まれる。	ご利用者様の生活の歳時記を大切に、毎月1回、行事食を行う。 ご利用者様が楽しくかつ美味しく感じる共感の場を設営し、円滑なコミュニケーションを図る。	行事食の年間計画を作成。ご利用者様に、食材をお見せし季節感を感じて頂いたり、調理への参加を図っていく。 テーブルや座席の配置を変える等の工夫をし、食事を美味しく感じれる場を作る。	12ヶ月
3	44	なるべく薬にたよらずに便秘や失禁を減らし、より自立したトイレでの排泄が出来るように支援して行く。	量、形状等適切な食事や水分補給を行う。 便秘予防・失禁予防の体操に取り組み、改善をはかる。 ご利用者様の思いを汲み、トイレでの排泄を行えるようにケアを進めていく。	もち麦の活用。水分補給拒否者には、ゼリー等の代替品を活用するなど、便秘改善食を展開していく。1日2回の便秘予防・失禁予防の体操実施。ご利用者様各自の排泄前のサイン、排泄パターンのモニタリングを進め、適切な誘導を行う。	12ヶ月
4	52	居心地の良い共用空間づくり 感染症患者を出さないため、対策をどうするか。	感染症患者を出さない。	施設内の環境を良い状態を保つため湿度対策、感染症対策(感染源の排除)を、生活改善委員会が中心となって取り組んでいく。既に来客者に対し、マスク着用のご協力や、ご利用者様への食事前の手の殺菌を実施した。また、感染症予防対策の社外研修の参加や、社内研修・勉強会を継続的に行う。	12ヶ月
5	49	歩行困難な利用者等は頻繁に外出することは次第に難しくなっていくが、決めつけることなく、五感への刺激や本人の意欲向上、利用者や職員の気分転換にもなる外出や外気浴についても工夫することを期待したい。	天候とご利用者様の体調良好時、散歩を行う。外出困難のご利用者様には外気浴を行う	ご利用者様各自の散歩記録を取り、意欲・服装・排泄介助等、全スタッフが安全でクオリティの高い散歩介助ができる様にする。外出困難のご利用者様には、施設の周りやベランダを活用し気分転換を図る。	3ヶ月